

事業番号	325
------	-----

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	教育委員会運営事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	教育総務課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	庶務係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		16 学校教育		2 教育力を向上させる				
		副目的									
	予算区分	款	10	項	1	目	1	大	2	中	1
	根拠法令・個別計画	地方教育行政の組織及び運営に関する法律									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	教育委員会の適切な運営維持を図る。									
	内容 (手段)	<p>教育委員会(定例・臨時)を円滑に開催するため、関係機関との協議調整、書類作成、教育委員への連絡等の事務を行う。 教育委員が、市内学校・社会教育施設視察、小中学校卒業式出席、愛日地方事務協議会等会議出席のための事務を行う。</p> <p>《直接経費内訳》(平成24年度決算額) ・教育委員行政視察等旅費 343,230円 ・報償費 49,000円 ・その他 88,996円</p> <p>《直接経費内訳》(平成25年度予算額) ・教育委員行政視察等旅費 393,000円 ・報償費58,000円 ・その他 298,000円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	436	601	481	749	
		正職員	従事者数	人	0.60	0.60	0.60	0.60
			人件費	千円	3,198	3,198	3,198	3,198
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	3,634	3,799	3,679	3,947
	対前年比		%		104.5	96.8	107.2	
財源	一般財源	千円	3,634	3,799	3,679	3,947		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	教育委員会(定例・臨時)	回	目標	12	12	12	12
			実績	14	16	14	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
教育委員会(定例・臨時)	回	目標	12	12	12	12	
		実績	14	16	14		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		教育委員会の形骸化、マンネリ化による実質的な審議がなされていないとの指摘もあるが、教育委員会の機能が発揮できるよう活発な審議や意見交換を行っていく必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		教育行政の停滞を招き、教育機関及び市民(児童・生徒)への影響が懸念される。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	教育委員会での活発な議論のため、教育委員、事務局双方から意見交換課題を提案し、議論を行う。	
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	国の方針等の変更など、教育現場及び教育行政は年々変化している。その状況に対応するため、市教育委員会として検討し、方向性を決めるために、教育委員会を開催する必要がある。また、その情報取得のためにも、視察及び会議等への出席調整を行う必要がある。上記理由により、現状維持と判断した。		
	26年度以降の改善案	教育委員会が本来の機能を発揮できるように、事務局として資料作成時には様々な情報収集をし、委員をはじめ市教育委員会内部の情報共有を図りながら、多様化する教育行政の課題について議論できるようにしていく。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。